

診療科研修コース申請書

研修コース名【 整形外科コース 】

- ・ 募集されるコース毎に記入して下さい。
- ・ 貴施設の診療科研修全体のスケジュールを表示する表や模式図を添付して下さい。

1. 診療科(専門領域)

整形外科

2. コースの概要

卒後初期臨床研修を終了して整形外科の修練を希望するものを対象とする。

(本人の意向を研修責任者が聴取し本人との相談で決定する)

3. 取得資格

国立病院機構による診療認定医()資格

学会認定の整形外科専門医取得可能

4. 長期目標

整形外科学の専門的知識の修得と臨床技量の取得

5. 取得手技

整形外科の基本的な診療技術

X線画像などの読影(単純X線、CT、MRI、脊髓腔造影など)

超音波断層画像の撮影及び読影

整形外科検査(脊髓腔造影、椎間板造影、股関節造影など)の技術の修得

整形外科手術の修得

周術期管理の理解と実践

6. 研修期間 3年間(当院では2年間)

7. 募集人数 1 名

8. 診療科の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度

主要疾患	入院数（年間）	経験目標症例数（ 3 年間）
大腿骨骨折（含む膝・股）	2 0	6 0
下腿骨骨折（含む足関節）	2 0	6 0
その他の四肢の脱臼・骨折	2 0	6 0
腰椎ヘルニア・狭窄症	2 0	6 0
頸髄症	2 0	6 0
脊椎外傷	1 0	3 0
変形性股・膝関節症	1 0	3 0
先天性股関節脱臼	1 0	3 0

手術	件数（年間）	経験目標件数（ 3 年間）
観血的骨接合術（大腿骨頸部骨折）	1 0	1 0
観血的骨接合術（ほかの下肢）	1 0	1 0
観血的骨接合術（上肢）	1 0	1 0
人工骨頭置換術（頸部骨折）	1 0	1 0
ヘルニア・開窓・椎弓切除（腰椎）	1 0	1 0
椎弓切除・形成（頸椎）	1 0	1 0
人工関節（股・膝）	1 0	1 0
股関節造影	1 0	1 0

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 2 名、非常勤 0 名

診療科研修の指導にあたる医師 2 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 勝見 明

〃 診療科経験年数 15 年

10. コンセプト

専門領域とその関連領域の系統的な研修で裾野の広い臨床医を育む

施設外との質の高い交流研修を実施し広い視野で専門性に富む臨床医を育む

個々の医師の将来に向けた柔軟で明確な研修プログラムを用意する

医療の質を高める臨床研究を実践する

11. 一般目標

- ・ 関連領域を含む幅広い知識で患者の病態の全貌を把握し、関連診療科との必要な協議を行的確な治療計画を立案するとともに医学の進歩に伴う生涯学習を実践する。
- ・ 医療安全，患者の人権への配慮，他の職種，患者との意思疎通を図り，安全な医療を実践する。
- ・ 危機管理を含めた科学的な医療が円滑に行われるための管理統括が出来るように、医療技術と人格をも高めることを目標にする。

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修

可能

不可

施設外との交流研修

可能

不可

研修領域の決定

(本人の意向を研修責任者が聴取し，本人との相談で決定)

13. 共通領域研修について

院内 CPC に参加

関連病院とのカンファレンスに参加